

令和8年3月31日

須賀川市議会議長 佐藤 瞭二 様

会 派 名 新政会

代表者名 代表 市村 喜雄



政 務 活 動 費 収 支 報 告 書

須賀川市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項に基づき、令和7年度政務活動費に係る収入及び支出について、下記のとおり報告します。

記

1 収 入 政務活動費 1,800,000 円
(30,000 円× 5 人× 12 月)
(円× 人× 月)

2 支 出 (単位：円)

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	1,146,220	①行政視察（松山市・高松市） 583,635
		②行政視察（函館市・室蘭市） 562,585
資 料 作 成 購 入 費	25,256	①参考図書購入（ガバナンス） 14,256
		②参考図書購入（日本教育新聞） 11,000
広 報 費	294,723	①会派報発行 294,723
事 務 費	0	
計	1,466,199	

3 残 額 (返還額) 333,801 円

* 利息分は含めない。



政務活動費会計帳簿

令和7年度

経理責任者 鈴木洋二

月 日	項 目	収 入 額	支 出 額	備 考	支出項目
4/16	上半期政務活動費	900,000			
4/28	図書購入費		14,256	ガバナンス	資料作成購入費
6/26	行政視察旅費		583,635	116,727円×5人	調査研究費
10/22	下半期政務活動費	900,000			
10/23	行政視察旅費		562,585	112,517円×5人	調査研究費
12/10	図書購入費		11,000	日本教育新聞 2025/12~2026/3	資料作成購入費
3/9	会派報		294,723	会派報	広報費
収 支 計		1,800,000	1,466,199	残額 333,801 円	

精算確認年月日

令和8年3月31日

確認者氏名：市村 喜雄



令和7年度 政務活動費実績書

会派名 新政会


事業名	事業内容
行政視察	<p>愛媛県松山市 「まちなかウォークブル推進事業について」 香川県高松市 「スマートシティたかまつ」について 令和7年7月22日～7月24日まで参加人数5名</p> <p>北海道函館市 町会合併について 北海道室蘭市 自治会・町内会の活性化について 令和7年11月10日～11月12日まで参加人数5名</p>
研修会	
会派報発行	<p>会派報発行3月23日発行 新政会だより 議会の時間 令和7年度活動報告 ・令和8年度へ向けての要望 ・行政視察研修報告</p>

調查研究費


令和7年8月13日

須賀川市議会議長 佐藤 暲二 様


会 派 名 新政会

代表者名 代表 市村 喜雄 

会 派 名 ニュー令和

代表者名 代表 大内 康司 

会 派 名 耶麻文快

代表者名 代表 安藤 正博 

視 察 研 修 報 告 書

先に実施した視察研修概要について、下記のとおり報告いたします。

記

- 1 期 日 令和7年7月22日(火)から令和7年7月24日(木)
- 2 視察先及び視察内容
 - (1) 愛媛県松山市
「まちなかウォークブル推進事業について」
 - (2) 香川県高松市
「スマートシティたかまつについて」
- 3 参加者 新政会 市村喜雄(代表)、鈴木正勝、石堂正章、鈴木洋二、
柏村修吾
ニュー令和 大内康司(代表)
耶麻文快 安藤正博(代表)
- 4 概 要 行政調査日程及び調査内容は別紙添付資料のとおり



令和7年6月20日

須賀川市議会議長 佐藤 瞭二 様

会 派 名 新政会

代表者名 代表 市村 喜雄



会 派 名 ニュー令和

代表者名 代表 大内 康司



会 派 名 耶麻文快

代表者名 代表 安藤 正博



視 察 研 修 届

下記により視察研修を実施しますので諸般の事務処理についてよろしくお取り計らいください。

記

1 期 日 令和7年7月22日(火)～24日(木)

2 研 修 地 愛媛県松山市、香川県高松市

3 研修内容

(1) 愛媛県松山市

「まちなかウォークアブル推進事業について」

(2) 香川県高松市

「スマートシティたかまつについて」

4 参加者 新 政 会 市村喜雄(代表)、鈴木正勝、石堂正章、鈴木洋二、
柏村修吾

ニュー令和 大内康司(代表)

耶麻文快 安藤正博(代表)

5 旅 費 817,089 円

(新政会 583,635 円 ニュー令和 116,727 円 耶麻文快 116,727 円)

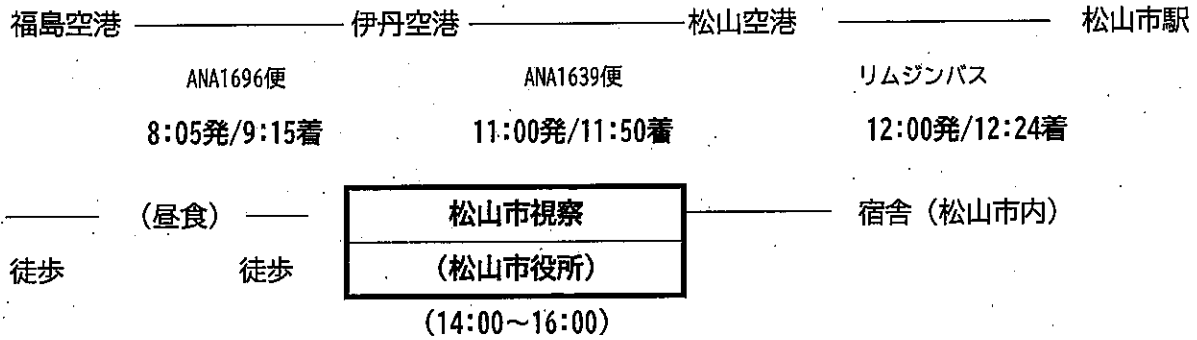


須賀川市議会「新政会、ニュー令和、耶麻文快」 行政視察日程

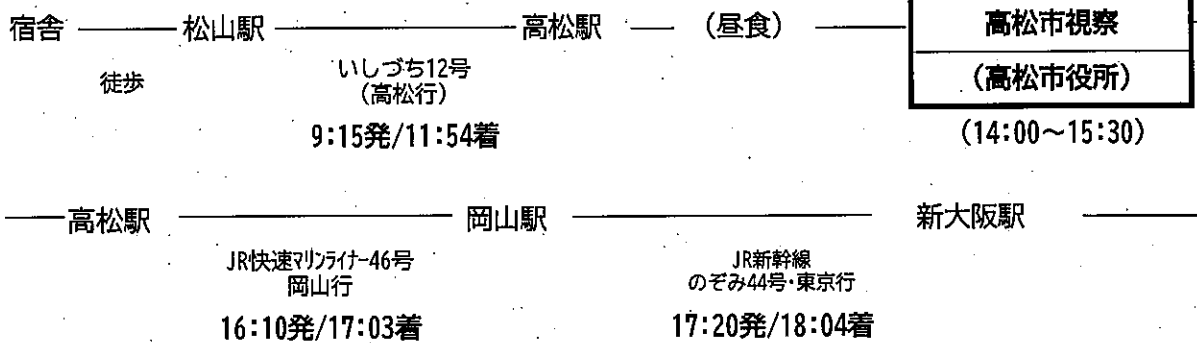
◀視察先及び研修項目▶

- ① 愛媛県松山市
「まちなかウォークラブル推進事業について」
- ② 香川県高松市
「スマートシティたかまつについて」

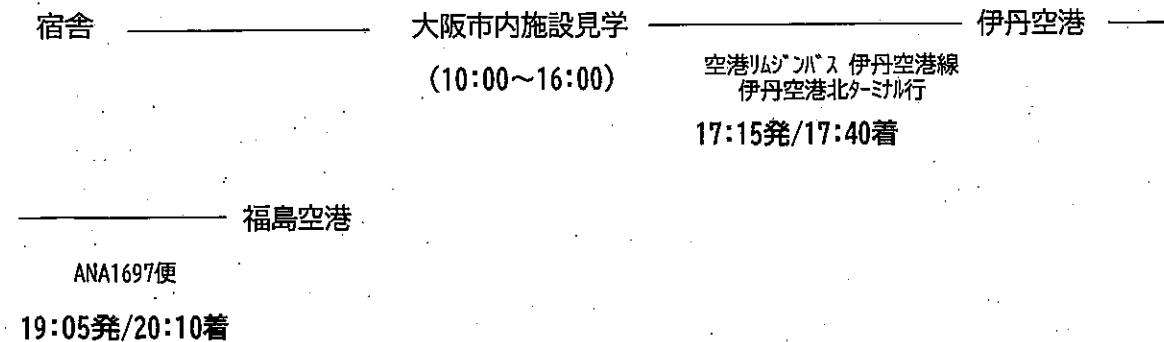
【1日目】 7月22日 (火)



【2日目】 7月23日 (水)



【3日目】 7月24日 (木)



新政会・ニュー令和・耶麻文快 視察旅費額

7月22日(火)~24日(木) 2泊3日

議員 7人

※議員1人当たりの金額

項目	金額	期日	行程	距離(km)	金額(円)	備考
航空運賃	62,750	7/22	福島空港⇒伊丹空港⇒松山空港	1,040.0	45,780	
		7/24	伊丹空港⇒福島空港	662.0	16,970	
鉄道運賃	14,500	7/23	松山駅⇒高松駅	194.4	6,490	乗車券 3,960円 特急券 2,530円
		7/23	高松駅⇒岡山駅⇒新大阪駅	252.1	8,010	乗車券 4,830円 特急券 3,180円
バス	1,600	7/22	松山空港⇒市松山駅	7.6	1,000	空港リムジンバス
		7/24	新大阪駅⇒伊丹空港	11.3	600	空港リムジンバス
車賃	777	7/22, 24	須賀川市役所⇄福島空港	21.0	777	10.6×2⇄21km×37円
宿泊	28,100	7/22	松山市内宿泊	乙地方	13,300	
		7/23	大阪府内宿泊	甲地方	14,800	
日当	9,000	7/22~24	3,000円	3日分	9,000	
計	116,727					

※旅費計

一人当たり 116,727円 × 7人 = 817,089 円

合計

817,089 円

令和7年11月28日

須賀川市議会議長 佐藤 暲二 様

会 派 名 新政会

代表者名 代表 市村 喜雄



視 察 研 修 報 告 書

先に実施した視察研修概要について、下記のとおり報告いたします。

記

- 1 期 日 令和7年11月10日（月）から令和7年11月12日（水）
- 2 視察先及び視察内容
 - (1) 北海道函館市
「町会合併について」
 - (2) 北海道室蘭市
「自治会・町内会の活性化について」
- 3 参 加 者 市村喜雄（代表）、鈴木正勝、石堂正章、鈴木洋二、柏村修吾
- 4 概 要 行政調査日程及び調査内容は別紙添付資料のとおり



令和7年10月10日

須賀川市議会議長 佐藤 瞭二 様

会派名 新政会

代表者名 代表 市村 喜雄



視 察 研 修 届

下記により視察研修を実施しますので諸般の事務処理についてよろしくお取り計らいください。

記

- 1 期 日 令和7年11月10日(月)～12日(水)
- 2 研 修 地 北海道函館市、北海道室蘭市
- 3 研修内容
 - (1) 北海道函館市
「町会合併について」
 - (2) 北海道室蘭市
「自治会・町内会の活性化について」
- 4 参加者 市村喜雄(代表)、鈴木正勝、石堂正章、鈴木洋二、柏村修吾
- 5 旅 費 562,585円



須賀川市議会「新政会」 行政視察日程

≪視察先及び研修項目≫

- ① 北海道函館市
「町会合併について」
- ② 北海道室蘭市
「自治会・町内会の活性化について」

【1日目】 11月10日 (月)

福島空港 ————— 新千歳空港 ————— 昼食 ————— 南千歳駅
ANA1113便 快速エアポート73号 (札幌行)
 9:25発/11:00着 12:29発/12:32着

————— 函館駅 ——— 宿舎 (函館市内)
北斗12号 (函館行)
 12:46発/16:08着

【2日目】 11月11日 (火)

宿舎 ————— 函館市視察
(函館市役所)
(10:00~11:30) ————— 昼食 ————— 函館駅 —————
徒歩 北斗13号
13:31発/15:56着

——— 東室蘭駅 ————— 宿舎 (室蘭市内)
徒歩

【3日目】 11月12日 (水)

宿舎 ————— 東室蘭駅 ————— 室蘭駅 ————— 室蘭市視察
(室蘭市役所)
(9:30~11:00) —————
徒歩 室蘭本線 室蘭行 徒歩 徒歩
 8:41発/8:53着 (9:30~11:00)

室蘭駅 ————— 南千歳 ————— 新千歳空港 ————— 昼食 ——— 福島空港
JR室蘭本線 千歳行 快速エアポート86号 ANA1114便
 11:45発/13:20着 13:24発/13:28着 15:15発/16:45着

新政会 視察旅費額

11月10日(月)~12日(水) 2泊3日

議員 5人

※議員1人当たりの金額

項目	金額	期日	行程	距離(km)	金額(円)	備考
航空 運賃	57,840	11/10	福島空港⇒新千歳空港	644.0	28,920	
		11/12	新千歳空港⇒福島空港	644.0	28,920	
鉄道 運賃	18,300	11/10	新千歳空港⇒南千歳⇒函館	277.3	8,910	JR乗車券 新千歳空港~函館 5,960円 (277.3km) 特急券 南千歳~函館 2,950円 (274.7km)
		11/11	函館⇒東室蘭	189.5	7,130	乗車券 4,400円 特急券 2,730円
		11/12	東室蘭⇒室蘭	7.0	0	同一地域内8km以内のため
		11/12	室蘭⇒南千歳⇒新千歳空港	94.8	2,260	乗車券 2,260円
車賃	777	11/10,12	須賀川市役所⇄福島空港	21.0	777	10.6×2≒21km×37円
宿泊	26,600	11/10	函館市内宿泊	乙地方	13,300	
		11/11	室蘭市内宿泊	乙地方	13,300	
日当	9,000	11/10~12	3,000円	3日分	9,000	
計	112,517					

※旅費計

一人当たり 112,517円 × 5人 = 562,585 円

合計

562,585 円

資 料 作 成
購 入 費

請求書

登録番号: T1010001100425

新政会

様 令和 7 年 4 月 18 日

東京都江東区新木場1丁目18番11号(〒136-8575)

株式会社きょうせい

代表取締役 西本



下記のとおりご請求いたします。
(0450-0086090)

令和7年4月～令和8年3月分

お支払は 令和 7 年 5 月 31 日までをお願いします。

ご請求額 ¥14,256.-
内消費税10% ¥1,296.-

お得意様No. (請求No.) 70-7860902
(504091597)

品名	追録号数	数量	単価	金額	備考
月刊「ガバナンス」 2025年4月号～2026年3月号	購読料	1	14256	14256	

(振込先) みずほ銀行東京営業部 (001)
普通預金 4913720 かぎヨウセイ
(要打電項目) 504091597 シンセイ

01250039291
(3)

振込金受領証

(金融機関-宛て-送付専用)

払込人氏名
新政会
様

お問い合わせ番号
707860902

金額
14,256
内消費税額
1,296

受取人
株式会社きょうせい

振込先
みずほ銀行東京営業部
普通4913720
かぎヨウセイ

受領印

収入印紙貼付欄

(C No. 等様使用)

須賀川信用金庫
須賀川市役所支店

25.4.20
受取日
14,256-17
618661

(お客様控)

ゆづり銀行又は郵便局でお支払いの場合は左側の欄を空白にしてください。

請 求 書

2025年 12月 3日

須賀川市議会 新政会

様

「日本教育新聞」をご購読賜りまして厚く御礼申し上げます。
 下記の通りご請求申し上げます。
 ※お支払い方法についてはこの請求書の裏面をお読みください。



株式会社 **日本教育新聞社**

代表取締役社長 幹長

東京都港区白子 3-8-20

電話 03 (3) 2897-0008

《お支払い先》

- ・振替払込 00150-8-196500
- ・銀行振込 みずほ銀行虎ノ門支店
普通預金 2835213
- ・口座名義 株式会社日本教育新聞社



合計請求額	11,000 円	読者コード	28-548407	請求書番号	0004810999
-------	----------	-------	-----------	-------	------------

(内税)

【お願い】 銀行からのご送金の際は、ご依頼人の前に上記の読者コードを入力してください。

	品 名	部 数	期 間	金 額	備 考
前回請求額				円	
今回入金額				円	
差引繰越額				円	
今回請求額	日本教育新聞	1部	4ヶ月分	11,000 円	2025/12-2026/03
合計請求額	日本教育新聞	1部	4ヶ月分	11,000 円	2025/12-2026/03

振替払込請求書兼受領証 (振込金 (兼手数料) 受領書)

この受領証は、大切に保管してください。	口座番号	001508196500
加入者名	日本教育新聞社	
金額	千 百 十 万 千 百 十 円 1 1 0 0 0	
振込先	銀行 支店	
ご依頼人	振込先 548407 須賀川市議会 新政会	
料 金	(消費税込み)	
備 考	日 附 印	

CVS 収納用収入印紙貼付欄

(お客様控)



(ゆうちょ銀行)

廣 報 費

新政会だより 議会の時間

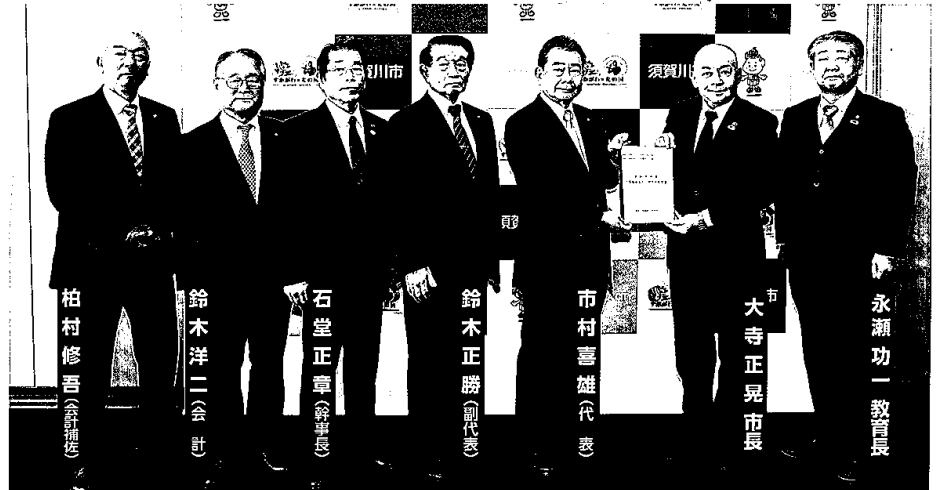
今回の新政会「議会の時間」は、令和7年度の活動報告となります。発行責任者 市村喜雄 須賀川市八幡町135番地 Tel. 0248-88-9162

令和8年度へ向けての要望 令和7年12月1日提出

令和8年度当初予算では、社会環境の変化を踏まえ、脱炭素社会の実現、人口減少、少子高齢化社会における次世代の人材育成、さらには、賃金の引上げ、原材料費やエネルギー価格等の物価高騰への対応など、喫緊の課題に的確かつスピード感を持って対応していただくことが重要であると感じております。

また、中心市街地地区は、全国的な社会問題である、人口減少、少子高齢化、生産力の低下や消費の減少などで、現在の「まち」が維持出来ずに快適な生活が送れなくなり、併せて近所にある店舗、病院等の施設が閉鎖に追い込まれ、買い物や通院等が困難になり、また空き地や空き家等の増加による防災防犯上の不安が生じ、安心安全な生活が脅かされております。

そうした生活利便性の低下を抑制し、持続可能な都市構造へ移行させるために、『コンパクトなまちづくり』が必須であり、早急に手を打つこと、そして事業の推進スピードを加速するこ



とが必要であると考えます
今後とも、国の支援措置を最大限に活用し、それぞれの部署において本市が直面する課題

を踏まえた、効果的な予算を編成するとともに、持続可能な財政運営に努めるよう要望いたしました。

令和8年度予算編成などに関する要望事項

- 1 物価高騰対策として、市民と事業者等に対する支援策を講じるとともに、国の交付金等が確定した場合には、市民生活を守ることを基本に機動的に事業展開を図ること
- 2 自治会や地域活動団体の運営負担を軽減するため、デジタル化推進などへの支援予算を確保すること、また緊縮財政の元、市民サービスの低下、市民活動の萎縮などが起こらないように、市民の日常生活、自治会活動に影響する施策等に直結する予算配分に対して特段に留意すること
- 3 市全体で全市民に対する重層的なセーフティネットの強化へ、相談支援、参加支援、地域づくりに向けた重層的支援体制整備事業の拡充促進を図ること
- 4 農業を取り巻く環境が厳しさを増しているなか、特に気候変動対策に伴う対応を強化すること、さらに農業後継者がスマート農業による営農継

- 続を可能とする支援策を図ること
- 5 中心市街地のスポンジ化を防ぐ事業、十年後には多くの人が住みたいと思うまちづくりの単年度計画の積み重ねではない都市機能の充実を総合的に推進すること、併せて、専従の「まちづくりプランナー」の配置を図ること
- 6 パイオマス発電を始めとした再生可能発電など、再生可能エネルギーへの取り組みの支援強化策を図ること
- 7 最低賃金の引き上げに伴い中小企業の経営が厳しさを増すなか、国県の補助事業を最大限活用して支援強化すること
- 8 限られた財源の中で、その財政出動を地域内循環のために最大限に使用することを念頭に、地域内の事業所への業務委託、発注等を最優先とすること
- 9 現在、国からの補助を受けられる環境にあるため、学習環境整備の一環として、また災害時避

- 難場所にも該当している、小・中・義務教育学校の体育館への空調設備の早期設置を図ること
- 10 児童生徒の問題行動及び心の問題等へ迅速な対応が図られるよう、スクールカウンセラーやソーシャルワーカーの常設設備に努めること、また課題を抱える家庭への対応として家庭相談員等の適切な人員配置と関係機関との連携に努めること、併せて、保育所・幼稚園・こども園への対応として、保育士・保育教諭・学校における特別支援教育支援員の適切な人員配置を図ること
- 11 図書館教育の充実のために、図書館司書の適切な人員配置、及び、校外学習の体験機会を確保するための研修バス使用の拡充を図ること
- 12 水泳の授業は中学2年生までの必修であり、保健体育の授業としては「命の授業」である水泳授業数の確保を図ること

「新政会とは」

長い経験を活かし
市政全体の発展と
正しい判断のもと市民の幸せを願い
堂々と臆することなく
洋々とした態度と姿勢で
すべての分野をまとめ修める
政治集団を目指す
「新たな政治に邁進する
市議会議員の会」です

- ▼ 会派所属議員
- 市村喜雄（代表）
- ▼ 総務常任委員会
- ▼ 予算常任委員会
- 須賀川地方保健環境組合議会議員
- 鈴木正勝（副代表）
- ▼ 監査委員
- ▼ 議会運営委員会
- ▼ 経済建設常任委員会
- ▼ 都市計画審議会委員
- ▼ 予算常任委員会
- 石堂正章（幹事長）
- ▼ 議会運営委員会
- ▼ 経済建設常任委員会委員
- ▼ 予算常任委員会
- 須賀川地方広域消防組合議会議員
- 鈴木洋二（会計）
- ▼ 予算常任委員会委員長
- ▼ 文教福祉常任委員会
- 須賀川地方保健環境組合議会議員
- 柏村修吾（会計補佐）
- ▼ 文教福祉常任委員会副委員長
- ▼ 議会広報常任委員会
- ▼ 予算常任委員会
- ▼ 公立岩瀬病院企業団議会議員

行政視察研修報告

新政会の視察研修の報告です。紙面の都合上、要約の記載となります。各報告の詳細は記載のQRコードからご覧いただけます。

まちなかウォーカーブル推進事業について

▼令和7年7月22日(火) 愛媛県松山市



松山市・高松市の視察報告の詳細は右のQRからご覧いただけます。



松山市はJR松山駅と松山市駅を中心に「歩いて暮らせるまち」を目指し、平成12年から都市ネットワーク形成を進めてきた。松山市駅前には、歩行者動線の分断や交通渋滞、放置自転車、狭小な広場など多くの課題を抱えているため、平成30年の改変構想、令和3年社会実験、令和4年整備計画、令和5年実施計画を策定した。

整備では歩行者中心の空間へ転換し、電車・バス乗り場、イベント活用を想定した交流広場の整備、駐輪場の増設などを進めている。

また沿道商店街では、景観ガイドラインに基づくファサード整備を実施した。

これらの取り組みが賑わい創出やコンパクトシティ形成に寄与し、須賀川駅周辺の整備にも有益な示唆を与えているものである。さらに、広場完成後の運営体制やエリアマネジメントの重要性についても学び、今後のまちづくりを進める上で大きな参考となる視察であった。

スマートシティたかまつについて

▼令和7年7月23日(水) 香川県高松市



高松市では、人口減少や少子・超高齢社会の進行、デジタル技術の急速な発展を踏まえ、社会全体でスマートシティの方向性を共有しながら推進するため、「スマートシティたかまつ推進ビジョン(2025～2031)」を策定している。

目指す姿を「いつでも、どこでも、誰でも快適に過ごせる持続的に成長するまち」とし、課題を把握し、防災分野では水位・潮位センサーを活用したりリアルタイムデータにより災害対応の高度化を図っている。

観光分野ではレンタサイクルにGPSを搭載し、外国人観光客の行動分析に活用している。

福祉分野ではウェアラブル機器による高齢者見守りを推進し、地域包括ケアの強化を図っている。

これらの先進的な取り組みは、地域DXの推進や持続可能なまちづくりを考へる上で大いに参考となるものであった。

※DX＝デジタル技術で業務や暮らしを革新する取り組み

町会合併について

▼令和7年11月11日(火) 北海道函館市



函館市・室蘭市の視察報告の詳細は右のQRからご覧いただけます。



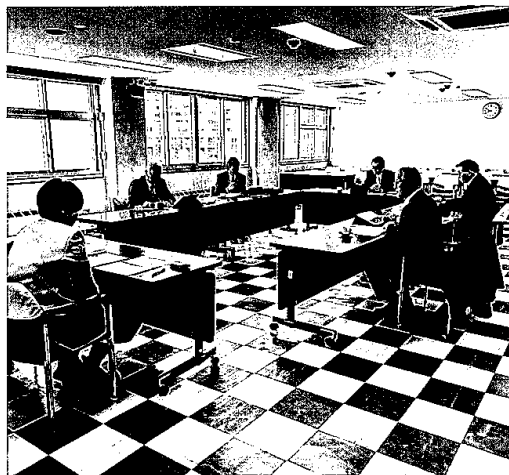
函館市では、町会の維持と活性化を目的に、町会連合会への補助金交付や町会館整備費、防犯パトロール支援など多様な助成制度を設けている。

町会では役員の高齢化や加入率の低下が課題となっており、合併による体制強化や担い手確保が求められている。今後の活性化に向けては、地域事業所や学校との連携、SNSを活用した情報発信、若い世代が参加しやすい活動づくりが重要とされる。住民説明会では丁寧な周知と意見反映が不可欠であり、地域合意の形成が合併成功の鍵となる。

さらに、町会活動の意義を住民に理解してもらおう取り組みを継続することで、地域コミュニティの再構築にもつながると考えられる。これらの取り組みは、人口減少が進む自治体における町会維持の実践例として参考となるものであった。

自治会・町内会の活性化について

▼令和7年11月12日(水) 北海道室蘭市



室蘭市では、町内会加入率が昭和63年の94.5%から令和6年には57.2%まで低下し、会長平均年齢73.5歳、役員も70代が中心となるなど、高齢化と担い手不足が深刻な課題となっている。

市は令和5年3月に「室蘭市町内会・自治会活性化基本方針」を策定し、4つの基本方針と27項目の具体策に取り組んでいる。

具体的には、転入者や学生への加入促進チラシ配布、自主防災組織や見守り活動の支援、スマホ教室やデジタル回覧板導入によるデジタル化の推進、学生向け出前講座や町内会サポーター制度、市民活動団体との連携事業、小規模多機能自治ネットワークへの加入、活性化推進条例の検討など、多角的な取り組みを展開している。

これらは、人口減少下における地域コミュニティ維持に向けた先進的な実践例として高く評価できる。